

弥栄小学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和8年度第1回弥栄小学校学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和8年6月9日(火)午後1時55分から午後3時40分まで
- 3 開催場所 一関市立弥栄小学校 わくわくルーム
- 4 出席者

- (1) 委員 熊谷佳美(会長)、菅原玉枝(副会長)、佐々木幸子、
中村美佐(副会長)、熊谷利春
- (2) 事務局 熊谷利春(副校長)

5 議題

- (1) 組織について
- (2) 令和8年度学校経営支援協議会 推進予定について
- (3) 令和8年度学校運営方針について
- (4) まなびフェスト・学校評価について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 0人

8 協議内容等

- (1) 令和8年度の組織について

次の通り今年度の会長と副会長が選任された。

熊谷佳美(会長)、菅原玉枝(副会長)、中村美佐(副会長)

- (2) 令和8年度学校運営方針について

校長から、P2からP7の資料に基づき「令和8年度の学校経営方針」および「まなびフェスト・学校評価」について説明を行った。以下のような協議が行われた。

ア 児童の様子について

委員 (プール開きの様子を観たが) 統率の難しさもあるが個性もある。のびのびと育っているように感じた。学校経営に関しても、学力差があることやメディアに関する問題があるのはよく分かる。できない子はできるように、できる子はさらにできるように少人数指導のよさを生かして行ってほしい。

事務局 自己決定の場を充実させるということで、先生にはなるべく頼らず自分たちで考え自分たちで実践させてきた。そういった場面をとおして、話の聞き方や自分たちで進めていく力は育ってきている。今後も続けていきたい。

委員 (先日プール清掃ボランティアに参加したが) プール清掃がこんなに大変だったのかと驚いた。やってみないと分からないことも多くある。もっと多くの地域の方々に参加してもらいたいと考えている。地域の人たちにどのようにアピールして引き込んでいったらいいのか考えている。

事務局 プール清掃では、たくさんのボランティアの方々にお手伝いいただきほんとうに助けられた。一番大変なのはプールの底にたまった泥や葉をすくい上げることであるが、そのほとんどをやっていただいた。おかげさまで短時間でとてもきれいになった。この輪を広げていけるように継続してはたらきかけていきたい。

委員 市民センターでも同じように、どうしたら市民のみなさんに関わってもらえるか

考えている。地域の方々は、市民センターや学校に関わっていききたいという気持ちは十分にもっている。ただ、忙しく時間帯が合わずに参加できないということが多い、その忙しく時間帯が合わないという実情をどのようにすり合わせていくかということが今後の課題である。

事務局 確かに、地域の方々に案内文書をお届けに行ってもいらっしゃらないことがほとんどである。地域の方々もそれぞれにお忙しいことを肌で感じている。地域の方々のお気持ちはほんとうにありがたい。学校からも、学習・環境整備支援の声かけを継続していきたい。

委員 子どもたちの挨拶する姿、一生懸命な姿をみて、先生方とてもよく頑張ってくれていると感じた。それは、校長先生や体育担当の先生の話の中にもよく表れていた。学校は、頑張ること、耐えること、関わり方を学ぶ場だと思っている。日々の日常の指導の成果がよく分かった。是枝監督のインタビューを聞いた。是枝監督はA Iに頼ることなく手書きで台本を書いているそうだ。A Iに頼れば一遍とおりになってしまいオリジナル性が失われる。同じように、子ども同士の気持ちの交流をとおして学び認め合えるようにしていきたい。

事務局 認め合いは大切にしていきたい。一人ひとりの日常の学校生活での活躍、行事での活躍など、活躍をとおして認め合えるようにしていきたい。認め合いができれば絶対にいじめ等は発生しないと考えている。

イ 特別な支援を必要とする児童について

校長 感情のコントロールが難しい児童がいる。学習の約束、プールの約束を保護者と本人も交えて一緒に決めた。新学期が始まって2週間はよく守った。現在も80%程度約束を守れている。不安の裏返しで棒を持ち歩くこともあったが現在はなくなった。大きく成長してきた。

自閉症スペクトラムの児童もあり、来年度は特別支援学級への措置替えを希望している。クールダウンできる場を保障し、安心できる自分の居場所を見つけられるようにして、中学校へ手厚く進学させていきたい。

委員 運動会の様子をみたが、二人とも一生懸命だった。声もよく出ていてリーダー的な役割も果たしていた。

ウ 職員の働き方改革について

校長 完全複式化を見据え、昨年度は日課表の見直しを行った。PTAからのご理解もいただき実践してきた。教材研究する時間を確保し、教育の質を高めていくことがねらいであるが、先生方が早く帰れるようになったことが一つの成果である。

委員 金曜日木曜時程に合わせ早く帰るのは弥栄だけなのか。最近、宿題が多いように思う。学校でやり残した分を宿題にしている部分もあるのではないかな。

校長 金曜日の時程については弥栄だけのものである。宿題については学年×10分＋10分を目安にしている。負担にならないように確認したい。

エ 承認について

以上の協議の結果、校長から説明された学校経営方針が承認された。